

ホスピタリティ講座「セミナーもてなしの心」

皆さんのホスピタリティ(親切なおもてなし)意識を高めましょう！◆日時 2月23日(休)午後1時30分～3時30分
◆場所 じゅうろくプラザホール(橋本町1-10-11)
◆演題 「大阪名物くいだおれ」社長の奮闘記～大阪・道頓堀！おもてなしの心～ ◆講師 柿木道子さん(㈱くいだおれ代表取締役会長) ◆定員 500人 ◆受講料 無料
◆申込・☎ 往復はがきの往信裏面に代表者氏名、郵便番号・住所、電話番号、同伴者氏名(3人まで)を、返信表面に代表者氏名、郵便番号・住所を記入して1月31日(必着)までに岐阜観光コンベンション協会(〒500-8727神田町2-2岐阜商工会議所1階・☎266-5588)へ。先着順。

岐阜の冬はジャズで熱くなる！ 第289回市民の劇場 楽市JAZZ楽団5thライブ 第4回ぎふジャズフェスティバル



●1月22日(日)午後2時開演 ●市民会館大ホール(美江寺町2-6)

市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」が出演。「エンターテインメント」をキーワードに、音楽監督・講師を務める岐阜市出身・在住の野々田万照さん、粥川なつ紀さんとともにバラエティ豊かな楽曲をお届け！特別ゲストに、驚異的なドラム演奏が世界中で高い評価を受けているドラマー・神保彰さんをお迎えします。地元ダンスチームとのジャズ×ダンスの競演も必見！会場の熱気をぜひ体感してください。◆内容 1部：楽市JAZZ楽団 コーもらんつ23 2部：神保彰ワンマンオーケストラ 3部：楽市JAZZ楽団 コーもらんつ16×T.R.Mダンススタジオ ◆料金 自由席：一般2,000円・高校生以下1,000円(当日は各500円増/前売で完売の場合、当日券は発売しません) ※未就学児は入場不可(託児あり、有料。1月9日(月・祝)までに市民会館へ申し込む) ◆発売場所 市民会館、文化センター、長良川国際会議場、チケットぴあほか ☎市民会館☎262-8111



神保彰さん



野々田万照さん



粥川なつ紀さん

第2回高橋尚子杯ぎふ清流マラソン ボランティアを募集！

◆活動日・内容・場所 右表のとおり
◆募集人員 2,000人 ◆応募資格 ①

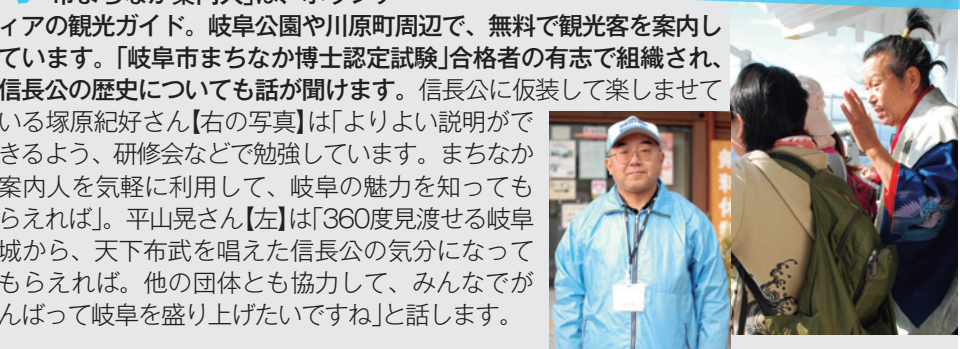
健康で元気な小学生以上(長時間立ったままでの活動が主となります)。
②指定された時間・場所に集合し、活動できる。③グループ・団体・職場・学校単位の応募も歓迎します。④小学生は保護者・引率者の同伴、未成年者は保護者の同意が必要です。⑤希望する活動内容に添えない場合もあります。◆その他 報酬は無償です。交通費や昼食も各自で負担・用意。主催者でボランティア保険に加入するほか、特製ボランティアTシャツとキャップ、ボランティア証明書を支給します。◆申込方法・☎ 申込書を大会公式ホームページまたは市民体育課(南庁舎3階)で入手し、ファクスまたは郵送で1月10日(火)～3月30日(必着)に高橋尚子杯ぎふ清流マラソンボランティア事務局(〒500-8875柳ヶ瀬通1-12岐阜中日ビル6階・☎265-0196(平日の午前11時～午後5時)・FAX 265-9398)へ。先着順。

※は岐阜メモリアルセンター			
活動日	内容	場所	区分
5/18 (金)	参加賞 袋詰め	※	A(午前) B(午後) C(午前)
5/19 (土)	参加者受付 参加賞渡し		D(午後) E(夕刻) F(午前) G(午後)
	案内業務	※と周辺	H
5/20 (日)	案内業務	※	I
	参加者受付 参加賞渡し		J
	完走証交付 記念品渡し チップ回収	※	K
	駐車場整理	臨時駐車場	L
	給水	長良川北側 長良川南側	M
	沿道整理	長良川北側 長良川南側	N
	救護	※とコース上	O
			P

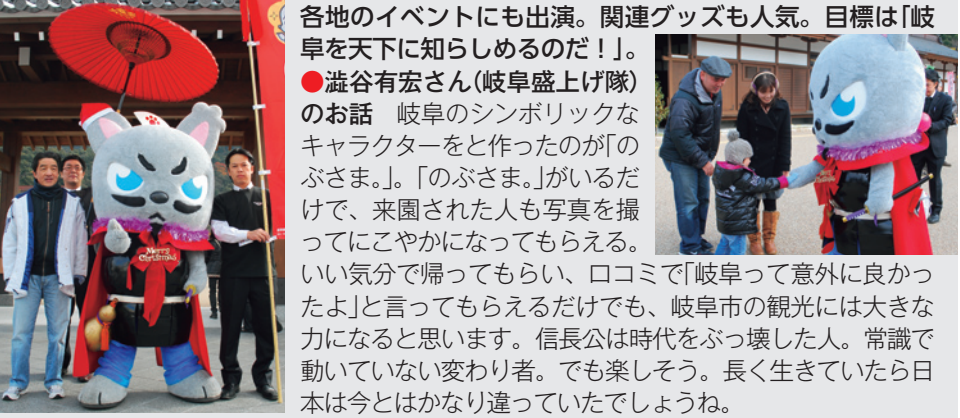
岐阜城・岐阜公園での「おもてなし」

昭和31年以来1,300万人以上が入場した岐阜城、信長公の鼓動が聞こえる歴史公園として整備が進む岐阜公園では、市民の皆さんによるおもてなしの心が息づき、訪れた人を温かく迎え、岐阜の魅力を案内しています！活動のいくつかをご紹介します。

水色のユニフォームが目印の「岐阜市まちなか案内人」は、ボランティアの観光ガイド。岐阜公園や川原町周辺で、無料で観光客を案内しています。「岐阜市まちなか博士認定試験」合格者の有志で組織され、信長公の歴史についても話が聞けます。信長公に仮装して楽しませている塚原紀好さん【右の写真】は「よりよい説明ができるよう、研修会などで勉強しています。まちなか案内人を気軽に利用して、岐阜の魅力を知ってもらえれば」。平山晃さん【左】は「360度見渡せる岐阜城から、天下布武を唱えた信長公の気分になってもらえれば。他の団体とも協力して、みんなでがんばって岐阜を盛り上げたいですね」と話します。



のぶさま。



金華山山頂周辺へ主に隔週日曜日に出現。観光客との写真撮影やふれあい、手作りのプレゼントなど、楽しみながら息の長い活動を目指しています。

●村雲稔樹さん(＝斎藤道三公)のお話 目指すのは、岐阜城を「子どもたちがいちばん楽しめる城」にすること。楽しい思い出を作ってもらい、将来それを思い起こして、もう一度来てもらえれば。岐阜城盛り上げ隊は斎藤家関係の人物で構成しています。道三公は、低い身分から成り上がったところに希望やロマンを感じますし、岐阜城や岐阜のまちの基本を作ったのも、そして父・信秀亡き後、信長公の真の姿を見破って期待してくれたのも、義理の父である道三公なのでから。

岐阜おもてなし武将隊

信義徹誠軍 今年度市民活動支援事業
岐阜公園内へ主に毎週日曜日に出現。写真撮影やふれあいによるおもてなしのほか、殺陣(たて)などのパフォーマンスにも磨きをかけています。●大沢鉄也さん(＝柴田勝家)のお話 岐阜に生まれ育ち、柳ヶ瀬がにぎやかだったころをよく知っているの、以前から何かできないかと考えていました。来園される人と話をして、笑顔になってくれると自分もうれしくなります。信長公の人生でいちばんいい時を過ごしたのが岐阜。きっと魅力的な人だったのでしょう。勝家としても「一度は敵対したけれど、謝ったら許してもらえたから、この人についていくしかなかったんじゃ！」



●織田信長サミット

信長公ゆかりの9市町で交流。昨年は10月の「ぎふ信長まつり」と同日に円徳寺で開催。



▲昨年11月の信長学フォーラム



信長公は、鷹匠に準じて鶴匠にも禄米を給し、鶴舟を与えて保護したと伝えられる

●豪華な「食事」でおもてなし 信長公は岐阜時代、武田信玄の使者・秋山伯耆(ほうしき)守、宣教師ルイス・フロイス、公家の山科言繼(ごきよ)、堺の商人で茶道の指導者である津田宗及(そうぎ)「汁を」ごぼさぬよう、真直ぐに持つように」と声をかけられたとか。「天王寺屋敷」によれば、信長公におかきやをよそってもらった津田宗及。この時はいちばんのごちそうは雉(きじ)の焼き鳥。信長公自ら鷹狩で捕えたものでした。



▲家田を近づけない館や城にも案内し、自ら動いておもてなしをする信長公に、客人もさぞかし驚いたはず

最強の騎馬軍団を誇る信玄、朝廷の財政を担当する言繼、キリシタンを指導するフロイス、貿易や鉄砲生産が盛んな堺の商人である宗及。いずれも友好関係を築きたい団体の代表的人物です。信長公はその人たちに好印象を与えるよう政治・外交戦略の環としてしたたかに外資を合わせたのでしょうか。特に、直接顔を合わせた「プレゼント攻勢」には、その意図を濃く感じられるようです。一方、小和田哲男さんは格下の相手でも自ら接待したのは、それほど計算的でなく、相手の喜ぶ顔を見たいという「おもてなしの心」があったからではと話します。信長公は、ただ目の前にいる客人を喜ばせたい一心でもてなしたのかもしれない。



▲金華山山頂からの景色は、今も変わらず雄大。信長公は濃尾平野を一望しながら天下統一を想い、客人たちはその眺望に心つかまれたことだろう。山科言繼は山上の城を信長公に案内してもらい、「峻難(けんなん)風景言語に説くべからず」と記している

信長公によるまちづくりを進めています。昨年2月7日、山上の岐阜城跡や山麓の織田信長公居館跡を含む金華山一帯が「岐阜城跡」として国史跡に指定されました。市では、この大切な歴史遺産を将来に守り伝え、またこの地に残る信長公の息吹を活かしたまちづくりを進めています。●織田信長公居館跡発掘調査 平成19年度から第4次調査を進めています。調査現場は一般公開されており、フェンス越しに見学できます。●史跡岐阜城跡保存管理計画 史跡を将来に守り伝えるための保存管理計画を今年度中に策定します。●信長学推進プロジェクト 信長公に関する多様な情報を集積し、信長学を立ち上げることを目的に取り組みし、市民の皆さんが楽しく分かりやすく理解を深める機会として、「信長学フォーラム」や講座「信長塾」を開催しています。また、信長資料集編集委員会を組織し、昨年3月に信長文獻目録集(信長公に関する近代以降の論文やエッセイなどの目録)を刊行。今後は「信長史料集」目録を刊行。信長を順次編集・刊行予定です。●信長公居館跡連携協議会(愛称、信長の夢街道連合) 信長公が居館を構えた愛知県清須市、同小牧市、滋賀県近江八幡市と連携して、パンフレットの配布などによる広域的な観光振興を図っています。

信長公は岐阜でどのような「おもてなし」をしたのか？

●広がる「景色」でおもてなし フロイスは、信長公の案内で館を見学。1階は多くの部屋があり、壁には物語の絵や金の屏風が。庭は四つも五つもあり、小石や白砂が敷かれた池に魚が泳いでいる(「日本史」に描写しています。3階・4階には茶室や、眼下にまちが見渡せる部屋もありました。●伝統的「鶴舟」でおもてなし 「甲陽軍鑑」によれば、秋山伯耆守には豪華なしつらえの観覧船で鶴舟を観覧させ、信玄に贈る船を信長公自ら選んでいました。●プレゼント攻勢でおもてなし 秋山伯耆守が帰国後、信長公は信玄にたくさんの贈り物をしました。これ以前にも、信玄の息子・勝頼に養女を嫁がせた信長公は、年7回も信玄にプレゼントをして



▲赤地牡丹唐草文天鷲絨洋装(あかじばたんからくさもんじろうどうまん)と/国重要文化財)上杉神社蔵。岐阜時代に信長公が上杉謙信に贈ったという

「おもてなし」の理由は？ 最強の騎馬軍団を誇る信玄、朝廷の財政を担当する言繼、キリシタンを指導するフロイス、貿易や鉄砲生産が盛んな堺の商人である宗及。いずれも友好関係を築きたい団体の代表的人物です。信長公はその人たちに好印象を与えるよう政治・外交戦略の環としてしたたかに外資を合わせたのでしょうか。特に、直接顔を合わせた「プレゼント攻勢」には、その意図を濃く感じられるようです。一方、小和田哲男さんは格下の相手でも自ら接待したのは、それほど計算的でなく、相手の喜ぶ顔を見たいという「おもてなしの心」があったからではと話します。信長公は、ただ目の前にいる客人を喜ばせたい一心でもてなしたのかもしれない。

信長公がおもてなしをした理由は、今とこの明確には分かりませんが、景色や鶴舟といったおもてなしの空間は、440年後の現在も脈々と受け継がれ、岐阜の大きな観光資源として親しまれていきます。鶴舟は江戸時代に一般的となり、明治時代には岐阜城も再建されて、まちのシンボルとなりました。しかし、それほど魅力ある空間が存在しても、そこに暮らす私たちにおもてなしの心が欠けていれば、訪れた人にもう一度岐阜に「来た」と満足していただけないでしょう。今年「ぎふ清流国体」で、

信長公は岐阜でどのような「おもてなし」をしたのか？ フロイスは、信長公の案内で館を見学。1階は多くの部屋があり、壁には物語の絵や金の屏風が。庭は四つも五つもあり、小石や白砂が敷かれた池に魚が泳いでいる(「日本史」に描写しています。3階・4階には茶室や、眼下にまちが見渡せる部屋もありました。●伝統的「鶴舟」でおもてなし 「甲陽軍鑑」によれば、秋山伯耆守には豪華なしつらえの観覧船で鶴舟を観覧させ、信玄に贈る船を信長公自ら選んでいました。●プレゼント攻勢でおもてなし 秋山伯耆守が帰国後、信長公は信玄にたくさんの贈り物をしました。これ以前にも、信玄の息子・勝頼に養女を嫁がせた信長公は、年7回も信玄にプレゼントをして



信長公が岐阜時代に遺したもので、440年を経た現在も脈々と受け継がれ、生き続けるのが、訪れた人々を待っている。喜ばせるおもてなしの心と、さまざまなおもてなしの空間です。こうした信長公のおもてなしは、近年の文献研究や発掘調査から明らかになってきました。

信長料理の再現でおもてなしへ！ 岐阜市長良川温泉旅館協同組合では、ぎふまちづくりセンターのプロジェクトの一環として、信長公が津田宗及に振る舞った料理を、記録を元に再現する試みを進めており、昨年10月の長良川おんぱくなどで試食を提供しながら、商品化を検討しています。昨年の「信長学フォーラム」でこのプロジェクトを紹介された山岡さんにお話をうかがいました。



岐阜市旅館ホテル協同組合理事長・ホテルパーク代表取締役社長

山岡 利安さん

「食」- 景色・鶴舟」が信長公のおもてなし。信長公には信頼できる相手を尊重する態度がある。あの信長公にこのまてもてなしてもらえという意外性にも、客人も心打たれたのかもしれない。金華山の上で景色を見せ、ごちそうを振る舞い、鶴舟を見物させる。今の岐阜市の観光でも変わらなせん。「岐阜に來たらこれを見てきやあ」という気持ちには、信長公も私たちも同じでしょう。●信長料理を再現へ 高級な食材が多く、手間がかかりました。しょう油や砂糖もなかったとされ、味が薄くなってしまふ。気軽に召し上がれる必要がある一方で、「信長料理」と銘打つからには、史実を根拠にしたメニューや調理法でなければならず、試行錯誤しながら進めています。